

■日時 平成28年8月16日(火) ■天候 曇 神戸市立楠高校 対 クラーク記念国際高校・広島・通
 ■球場 大田スタジアム 第2試合 3回戦 準々決勝 ■試合時間 2時間20分 ■備考
 ■審判 球審:栗村 塁審:竹本 山田 森井 中断10分

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
楠	兵庫	0	0	0	1	0	0	0	0	3	4	4	4
クラーク広島・通	西中国・広島	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	5	5

楠		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	一		坂口 龍之介	3	1	1	0	四球	投ゴ		二安		三失		四球				
2	二		池田 風雅	3	0	0	0	一ゴ	三ゴ		右飛			死球	捕犠				
3	三		平入 涼	5	1	2	0	投安		三振		遊失		三振	左2				
4	捕		萱野 登希也	5	0	1	1	三ゴ		三ゴ		三飛		左飛	左2				
5	投		飯島 敦哉	4	0	0	0	四球		二飛		左飛		三振	左邪				
6	右		若林 友輝	5	0	0	0	投ゴ			遊飛	振逃			三振	一ゴ			
7	中		村岡 龍人	3	1	0	0		死球		三失	三振			三振				
8	左		畑 潤也	3	0	0	0		三振		三犠		捕邪		三振				
9	遊		宮内 将太	3	1	0	0		四球		三失		三振		遊失				
合計				34	4	4	1	残塁:11 併殺:0											
備考																			

■バッテリー

投手	捕手
飯島 敦哉	萱野 登希也

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
飯島 敦哉	9	39	5	10	4	1

クラーク広島・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	投	遊	石原 幹太	5	0	0	0	三振		三失		三振		三失	三ゴ				
2	遊	投	砂川 弘樹	4	0	0	0	遊ゴ		四球		捕邪		三邪	一飛				
3	捕		横畑 翔吾	5	0	0	0	三振		三振		捕邪			三振	三振			
4	三		山本 優樹	3	0	2	1		右飛	中安			四球		右安				
5	左		中村 太紀	4	0	0	0		三振		右飛		三振		二失				
6	一		荒木 陸	4	0	0	0		三振		一失		遊ゴ		投飛				
7	右		細見 幹明	2	0	0	0			一邪	四球		三ゴ		四球				
8	二		中川 裕太	3	1	1	0			左安	二ゴ			守妨	三振				
9	中		三上 優誠	4	1	2	1			左2	三飛			投直		中安			
合計				34	2	5	2	残塁:10 併殺:0											
備考																			

■バッテリー

投手	捕手
石原 幹太	横畑 翔吾
砂川 弘樹	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
石原 幹太	0 0/3	1	0	0	1	0
砂川 弘樹	9	41	4	10	5	2

■戦評

大田スタジアムで行われた準々決勝第2試合は、1・2回戦を投手力で勝ち上がった神戸市立楠高校と打撃力で勝ち上がったクラーク記念国際高校・広島・通信制の対戦となった。試合が動いたのは3回裏、クラーク記念国際・広島は9番三上の適時三塁打などで2点を先制するが楠も4回表に二つの敵失から1点を返す。両チーム次の1点を奪えぬまま試合は進み7回裏には雨天により1時間の中断を挟むも、互いに集中力を切らすことなく2-1のまま最終回を迎える。9回表楠は敵失と四球で無死一二塁とすると2番池田が手堅く犠打を決め好機を広げる。続く3番平入の初球が暴投になり二人の走者が生還し逆転に成功すると、3番4番が連続二塁打を放ち貴重な1点を追加する。一転追い込まれたクラーク記念国際・広島もその裏、先頭9番三上が安打で出塁したが、後続が断たれ万事休す。楠が4-2で勝利し、準決勝に進出した。一方敗れたクラーク記念国際・広島はアクシデントにより1回無死から救援した2番手砂川が好投を続けていただけに8回の好機に追加点を奪えなかったことが何とも悔やまれる結果となった。